

# 平成 27 年度研究プロジェクト研究活動報告

研究種別	■共同研究 10
主査名	井原健雄 ・ 香川大学名誉教授
研究テーマ	地方都市の交通政策と運輸行政のあり方
<b>研究の目的:</b> <p>地方都市における交通問題の実証的な分析を行うとともに、政策志向の観点から「地方自治体」を含む「運輸行政」のあり方として、その意義と役割を検証し、有意な知見の導出を試みる。本プロジェクトでは、交通政策に関わる主体として、①「地域住民」、②「自治体」(運輸行政)、③「運輸事業者」の三者を挙げており、各主体が二層の Principal-Agent 関係にあると捉えている。すなわち、住民から出される公共交通サービスの要望は、自治体が集約し(住民:Principal、自治体:Agent)、その内容に従って自治体が運送事業者に運行委託を行う(自治体:Principal、事業者:Agent)というものである。そこで、この基本的枠組みに沿って、全国に先駆けて高齢化が進み、かつ自家用交通への依存が極めて高く、これに伴い交通事故が多発化傾向にある四国地域に着目して、各主体や Principal-Agent 関係における問題点を個別具体的に解明したうえで、四国における交通政策の吟味検証と、それを支える運輸行政のあり方について考察するものである。</p>	
<b>研究の経過(4月～9月):</b> <p>〈事前の連絡調整〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・研究プロジェクトを進めるにあたっての事前の連絡調整等を、電話やメール等で個別具体的にを行った。</li></ul> <p>〈平成 27 年度上期の研究会〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・8月1日(土) 13:00～17:00(サンポートホール高松 51 会議室)</li></ul> <p>プロジェクトリーダーから、昨年度の研究活動を振り返り、今年度の研究活動の進め方についての要望があった。また、今年度の研究の進め方について各メンバーから報告があり、その後、質疑応答と総括討議が行われた。</p>	
<b>下期へ向けて(課題等):</b> <p>〈問題意識の共有化〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・四国地域に相応しい自立志向の地域交通政策の樹立に寄与し得る有意な政策提言ができるよう、その裏付けとなる事業選定を行うこと。</li><li>・地域交通政策に関わる3つの主体(①「地域住民」、②「自治体」(運輸行政)、③「運送事業者」)が、それぞれ自主的に本来の責務と役割を果たすためには、どのような創意と工夫が必要かについて考察すること。</li></ul>	
<b>研究メンバー(敬称略):</b> <p>井原健雄(主査・香川大学名誉教授) 喜多秀行(神戸大学) 近藤光男(徳島大学) 奥嶋政嗣(徳島大学大学院) 正岡利朗(高松大学) 高塚順子(高松短期大学) 亀山嘉大(佐賀大学) 宮崎耕輔(香川高等専門学校) 福島明子(四国大学) 山本亜紀(かがわ産業支援財団) 松田夏城(JR四国)</p>	